

早稲田大学 教育学部 世界史 講評

出題形式 試験時間 特徴・その他	マーク式 60分 出題形式・分量…全問選択問題。記述式(2020年は10問)は復活しなかった。問題数は50問で昨年と同じ。2017年に初めて登場した二文正誤判定問題と年代配列問題は今年も継承された。正誤判定問題の中にはかなり細かいものもあり、注意が必要である。難易度は昨年とほぼ同程度。
------------------------	---

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
1	世界史上における人々の移動と移住	問1:(1)正解はb。クレタ文明は青銅器文明。古代ギリシア世界において青銅器時代から鉄器時代への過渡期は前12世紀から約400年続いた暗黒時代。(2)正解はa。フェニキア文字はシリア文字から派生。アラム文字はそのフェニキア文字から派生。(3)正解はd ドナウ川。問2:(4)正解はb。a-アルフレッド大王は「デーン人」の侵攻を食い止め、境界を確定してイングランド南部を確保した。統一はしていない。c-ヘースティングスの戦いで滅ぼされたのはアングロサクソン支配層。d-両シチリア王国の建国は1130年で12世紀。(5)正解はc。a-テノチティトランはアステカの都。b-小麦は旧大陸の作物。d-アステカはユカタン半島ではなくメキシコ中央高原。(6)正解はb ブランデンブルク辺境伯領。(7)正解はc。①-アルビジョワ十字軍(1209~29)を提唱したのはインノケンティウス3世。②は正文。問3:(8)正解はa。ゴアを占領(1510)はアルブケルケ。d-セウタは難しいがaが誤文であることは明白なので正文と推定してよい。(9)正解はc バルボア。アメリゴ=ヴェスプッチはフィレンツェの人。他はポルトガル。(10)正解はd。台湾のオランダ勢力を駆逐したのは鄭成功。(11)正解はd-英がケープ植民地をオランダから奪ったのはナポレオン戦争中の1795年。18世紀も末である。(12)正解はc。①のマタラム王国は「港市」ではなく中部ジャワの稲作地帯を拠点とした。ポルトガルのマラッカ占領(1511)により、ムスリム商人はスマトラ北部のアチェ王国からスンダ海峡に面したバンテン王国を経由する迂回路を拓いた。マタラムはバンテンの後背に位置して繁栄した。(13)正解はc。a-240万年前は「新人」ではなく「猿人」。b-「ムラービト朝の攻撃を受けて衰退」は「マリ王国」ではなく「ガーナ王国」。d-アフリカから連れ去られた黒人は「1千万から2千万」とされている。	標準・一部難
2	スウェーデンを中心とするバルト海地域の歴史	(1)正解はc。「スウェーデンとアメリカの関係が冷却化」というあまり聞きなれない事象にあわてないこと。ポイントは「1970年代前半に」だけ。cの北爆開始は1965年。aのキューバ危機は1962年、bの米によるソ連承認は戦前の1933年。dのアフガニスタン攻撃は2001年。「1970年代前半」にかかるのは一つだけである。(2)正解はa。パレスチナ暫定自治合意(1933)はオスロ合意ともいう。オスロはノルウェーの首都。ちなみに秘密交渉はオスロで行われたが調印はワシントンである。(3)正解はc。①は新教とカトリックの立場が逆。ベーメン王がカトリックを強要したので新教徒が反発したが正しい。②-正文。(4)正解はa 金。(5)正解はd。内容からブラッシーの戦い(1757)とわかる。	やや難

番号	出題内容	コメント	難易度
2		北方戦争(1700～21)とは重ならない。(6)正解はcトルストイ。「この戦争を題材にした小説」とは『戦争と平和』。トルストイは軍務についていたとき(ロシアの貴族には将校として軍務につく義務があった)クリミア戦争(1853～56)に従軍した。その際の経験をもとにした作品が『セヴァストポリ物語』である。(7)正解はd。a エカチェリーナ2世、クリミア進出(1771)→c デカブリストの乱(1825)→d アレクサンドル2世暗殺(1881)→b 大津事件(1891)の順。ロシア皇帝を年代順に並べればよい。(8)正解はa。英のジブラルタル領有はスペイン継承戦争のユトレヒト条約(1713)。※dも間違い。ベッサラビアは1812年にロシアがオスマン帝国から奪い、ウィーン会議で追認された。(9)正解はb。①は正文。②のエンクルマはガーナ(英領植民地としてはゴールドコースト)。ギニア(仏領植民地としては仏領ギニア(仏領西アフリカの一部))の指導者はセクトゥーレ。セクトゥーレは独立に際してフランス共同体内の自治国となることを拒否。その際の「貧困の中の自由を選ぶ」は有名。しかしギニアは独立後の経済混乱と独裁政治により500万の人口のうち200万が難民として隣接諸国に流入するという異常な事態を招いた。(10)正解はd 大ブリテン＝アイルランド連合王国。アイルランド併合(1801)によって成立。アイルランド王位は存在しないので同君連合にはあたらない。(11)正解はa。バルト三国(北からエストニア・ラトヴィア・リトアニア)は1991年に独立。(12)正解はb。NATOの成立は1949年4月。一方のワルシャワ条約機構の成立は1955年5月14日、ワルシャワで調印された東欧8カ国友好相互援助条約によって成立。1955年5月5日にパリ協定による西独主権回復・再軍備・NATO加盟に対抗したもの。	
3	テュルクの歴史	(1)正解はb 匈奴。(2)正解はd。a-突厥の建国は「鮮卑」ではなく「柔然」を倒して正しい。b-突厥の東西分裂(583)は隋の離間策によるもの。c-西突厥は7世紀初に唐に敗北したあと、8世紀初に分裂して抗争の果てに滅亡。(3)正解はd。ウイグルは突厥(第二可汗国)から自立。(4)正解はb ガズナ朝。ガズナ朝を建てたのはサーマーン朝の部将でマムルーク出身のアルプ＝テギン。(5)正解はa。ホラズム＝シャー朝を建てたのはセルジューク朝のトルコ系軍人。(6)正解はb。スレイマン1世はウィーン包囲は1529の1回。2回(1683)はムハメット4世。第2回はポーランド王の加勢もあってオスマン帝国の大敗に終わり、その結果カルロウィッツ条約(1699)が結ばれ、欧州東南部の覇権はオスマン帝国からオーストリアに移った。(7)正解はb ギリシア。ギリシアの独立はアドリアノーブル条約(1829)でロシア・トルコ間で承認、ロンドン会議(1830)で英をはじめとする列国の承認を受けた。c モンテネグロはサンステファノ条約(1878)で、独立承認。(8)正解はd。①・②ともに誤文。①のアブドゥルハミト2世は青年トルコ革命(1908)の翌年(1908)に反革命容疑で廃位されている。②-明らかな誤文。(9)正解はb シリア。ここでいうシリアはいわゆる「歴史的シリア」で現在のレバノンを含む。仏は「歴史的シリア」のうちキリスト教徒の多い沿岸部をレバノンとして分離した。	標準・一部やや難

番号	出題内容	コメント	難易度
3		(10) 正解は d。スルタン制廃止(1922)とカリフ制廃止(1924)には2年のずれがある。問1: 正解は a ウズベキスタン。問2: 正解は d モロッコ。問3: 正解は a セルビア。この3問は易しい。	
4	唐とその影響を受けた近隣民族	(1) 正解は c。a-阿倍仲麻呂は玄宗治世に唐に滞在した。b-祆教とはゾロアスター教。d-大秦景教中国流行中国碑はラテン文字ではなくシリア文字。(2) 正解は c。①-法顕はグプタ朝のチャンドラグプタ2世を「超日王」と記した。②は正文。(3) 正解は b 杜甫。「国破れて山河あり…」はあまりにも有名な詩句。(4) 正解は c。インドに亡命したのはダライ＝ラマ14世。(5) 正解は d 白村江の戦い。a 加耶滅亡(562)→百済滅亡(660)→d 白村江の戦い(663)→高句麗滅亡(668)の順。(6) 正解は b-広開土王(位391～412)は高句麗の王。「広開土王碑文」でも知られる。(7) 正解は c 上京龍泉府。(8) 正解は d。a-大運河造営は隋。b-「塩の密売人が起こした」は黄巢の乱。c-タラス河畔の戦いで唐に勝利したのはアッバース朝。(9) 正解は a・b。a-「五等級」は骨品制の仕組み。骨品制は王族と貴族を対象。平民は入らない。b-楽浪郡は313年に高句麗が滅ぼす。帯方郡滅亡は楽浪郡滅亡ののち南方の韓族・濊(わい)族によって滅ぼされた。(10) 正解は c。猛安謀克は金の制度。(11) 正解は c 大同。(12) 正解は d。荒唐無稽な内容で明らかな誤文。	標準・一部難

〔総合コメント〕

2020年まで毎年出ていた記述式は今年も復活しなかった。記述式の設定は基礎的なものが大半を占めていただけにその消滅によってその分難しくなった。ただ2021年に登場した「すべて選べ」として回答数を示さない出題形式は2022年に姿を消し今年も復活しなかった。「すべて選べ」式は厄介なので消滅は歓迎すべきである。二文正誤問題には細かいポイントが判断基準になるものや煩瑣なものがある。正誤判定問題の誤文には教科書的な文章で事実とは真逆の内容になったものなどポイントの見えやすいものもあるが、数は多くはないが厳しい出題もある。過去には琉球王国関係などは日本史から入った方が身につきやすい分野も出題されている。念のために日本史の教科書を用意して対外関係の部分は世界史と併用すると効果的である。受験世界史ではバイブル的存在である山川『用語集』は徹底的に読み込んでおく必要がある。今年の正誤ポイントにはこの『用語集』の説明文の一部を使ったものが目を引いた。黒人奴隷がアフリカから連れ去られた数1千万～2千万、「大秦景教流行中国碑」のシリア文字、燕雲十六州の「雲」＝「大同」などである。こういったところでしっかり得点できるかどうか成否をわけることになる。入試問題を数多くこなせば確実に得点は上がる。正確な知識がいくらあっても、その聞かれ方に慣れていないと解答には時間と労力が必要となる。また、正誤判定問題は見直しが不可欠である。丁寧な見直しをするためには時間の余裕が必要である。ふだんから時間をかけないで解答し、答え合わせと関連事項のチェックには時間をたっぷりかける学習をこころがけたい。